

環境調査結果のお知らせ

令和2年1月29日9時半から浦戸湾(高知市横浜・県漁協浦戸支所前岸壁)の環境調査を実施しましたので、結果をお知らせします。

水温・塩分(表1、表2)

湾内の水温は12.7~16.7℃で、前回調査時(R1.12.17)と比較して全層で1.3~3.3℃下降しました。塩分は9.8~31.0で、前回調査時と比較して全層で1.6~19.2下降しました。

溶存酸素量(表3)

湾内の溶存酸素量は6.0~8.8mg/lで、前回調査時と比較して表層から1m層及び底層で0.7~1.3mg/l増加しました。

透明度、プランクトン(表4、表5)

透明度は2.2mでした。

検鏡の結果、有害種のヘテロシグマ・アカシオが最高で4cells/ml確認されました。

海面の様子や魚などの生物の異常がみられたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして保存するとともに、直ちに水産試験場または中央漁業指導所まで連絡してください。

表1 水温(℃)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R1.12.17)	
			差(今回-前回)
0m	12.7	16.0	▲ 3.3
1m	14.7	16.0	▲ 1.3
2m	16.1	17.4	▲ 1.3
B-1	16.7	18.2	▲ 1.5

表2 塩分

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R1.12.17)	
			差(今回-前回)
0m	9.8	29.0	▲ 19.2
1m	19.3	29.6	▲ 10.3
2m	28.9	31.3	▲ 2.4
B-1	31.0	32.6	▲ 1.6

表3 溶存酸素量(mg/l)

測定水深(m)	今回調査	前回調査(R1.12.17)	
			差(今回-前回)
0m	8.8	7.5	1.3
1m	7.1	6.2	0.9
2m	6.0	6.0	0.0
B-1	6.0	5.3	0.7

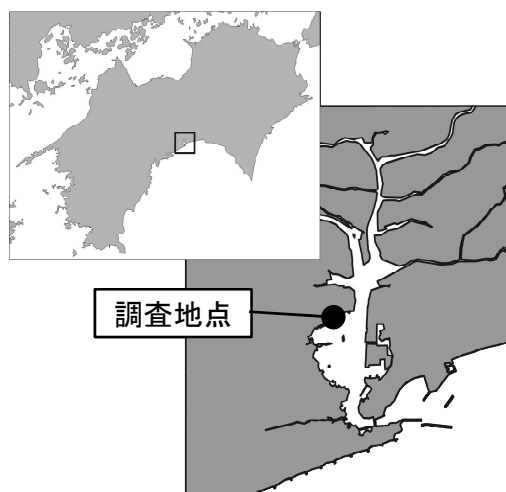


表4 水深・透明度(m)

	今回	前回
水深	4.0	3.8
透明度	2.2	3.2

表5 プランクトン(cells/ml)

測定水深(m)	ヘテロシグマ・アカシオ	アカシオ・サンガイネア	ジャイロディニウム属	珪藻類
0	0	0	0	0
1	0	0	0	2
2	4	0	0	3

漁業被害が想定される細胞密度

・ヘテロシグマ・アカシオ:
10,000~50,000cells/ml(魚類等のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。

<http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>